

# 『正確そして安全なインプラント治療』 ～CT、そして顕微鏡の融合～



東京都・鈴木歯科医院 鈴木真名

マイクロスコープ（顕微鏡）を用いた拡大システム（magnification system）は、現在日本の歯科臨床のなかでも発展してきており、歯内療法をはじめ修復治療、歯周治療など多くの分野で有用性が報告されている。そもそも拡大システムはその意義から考えて、特定の分野だけではなく、広く歯科治療全般に使用されるべきものである。とくに近年、インプラント治療の安全性が国民の間でも問われるようになっており、インプラント治療におけるマイクロスコープの有効性について考えるようになった。

インプラント治療はインプラント体という人工物を生体に埋入する処置であり、その手技は安全かつ確実に行われるべきであるとともに、多くの場合、硬組織や軟組織の再建が求められる。このような複雑な手技を要するインプラント治療こそ拡大システムが必要不可欠であり、インプラントを手掛ける多くの臨床家に取り入れてほしいと考えている。

筆者は、安全かつ確実なインプラント治療を実現するために、マイクロスコープのみでなく、CT、CAD/CAM、レーザー、ピエゾサージェリーなどさまざまな機器・器具を有機的に組み合わせて使用している。今回はその実際を、臨床例を通じて解説できればと考えている。